

## 第2次射水市健康増進プランの取組状況

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業は「中止」と記載

## 1. 生活習慣病の発症予防・重症化予防

## ①がん

	取組内容	担当課	事業内容	R3事業実績 (回数、人数等)	R4実施状況
ア	がんを予防するための生活習慣について、各種健診、相談、教室や集いの場等の機会をとらえて普及啓発を図り、がん予防推進に努めます。	保健センター	保健センター及び地域のコミュニティセンター等でがん予防をテーマに講義 広報、CATV	集団教育の代替としてがん予防のDVD放映、CATV放送を実施	広報、CATV、健康情報メールでの配信、がん予防のDVD放映・図書館企画展示
		地域福祉課	教室やつどいの場等での啓発普及	随時	随時
イ	子どもの頃からがん予防のための健康習慣を身につけるため、小学校等で授業を実施します。	学校教育課	健康教育	随時	随時
		保健センター	がん予防のための健康習慣の授業を実施	喫煙防止教室にて肺がん予防教育実施（1回）	継続実施 図書館でのがん予防普及啓発展示
ウ	健康づくりボランティアが地域で普及啓発活動を行えるよう、がんに関する情報提供や学習会を行います。	保健センター	ヘルスボランティア協議会活動の支援	保育園・幼稚園での乳がん予防普及啓発 がん検診受診勧奨グッズの作成・配布 コミセン祭等でのポスター掲示、チラシ配布 図書館でのがん予防普及啓発展示	継続実施
エ	がん検診についてわかりやすく説明し、がん検診の意義・必要性を理解できるように普及啓発し、受診率の向上に努めます。	保健センター	健康づくり講演会 市政出前講座	「Let'sトライIMIZUSHI健康8」普及啓発	継続実施 市政出前講座新メニュー「がん」 広報、チラシで啓発
		保険年金課	集団特定健康診査	がん検診同時実施 6回、293人	がん検診同時実施 6回、370人（見込）
オ	各がんの好発年齢者、若い世代や男性について、受診につながるよう、受診機会の拡充、SNSの利用による受診しやすい体制を整えます。	保健センター	夕方検診	肺がん検診と国保の特定健診を同時実施で 1回（肺）97人  乳がん検診 1回64人	肺がん検診 1回54人  乳がん検診 1回45人
			日曜検診	3回 （肺）1回、79人（胃） 1回、19人（大腸）2回、 8人（子宮）2回、50人 （乳）2回、90人	3回実施予定
			託児付きがん検診	中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
		保険年金課	コラボけんしん（特定健康診査とがん検診）による受診機会の拡充	がん検診同時実施 6回、293人	がん検診同時実施 6回、370人（見込）
カ	がん検診における要精検者に受診を促し、早期発見・早期治療に努めます。	保健センター	未受診者への個人通知（電話、郵送）	精密検査受診率 胃 93.8% 肺 91.7% 大腸 75.3% 子宮 88.1% 乳 97.4%	受診勧奨中

②糖尿病

	取組内容	担当課	事業内容	R3事業実績 (回数、人数等)	R4実施状況
ア	糖尿病の正しい知識や予防のための生活習慣（バランスの良い食事や食べ方の工夫、運動の必要性等）について出前講座や各種教室、広報、ホームページを通して普及啓発に努めます。	保健センター	広報等による情報提供 健康づくり講演会 市政出前講座	広報1回 CATV1回「射水市糖尿病Day2021」 図書館企画展示1回 市政出前講座等7回	継続実施
イ	健康診査の必要性について普及啓発し、健診受診率の向上に努めます。	保健センター	広報等による普及啓発	随時 「Let'sトライIMIZUSHI健康8」啓発普及	継続実施
		保険年金課	広報等による普及啓発 健診結果説明会	随時 2回、81人	随時 健診結果説明会2回、定員各80人
ウ	若い世代や男性について、新たな受診者が増えるよう、健診体制の改善や充実に努め、受診の促進を図ります。	保健センター	再掲：コラボけんしん（特定健康診査とがん検診）による受診機会の拡充	がん検診同時実施 6回、293人	がん検診同時実施 6回、370人（見込）
		保険年金課			
エ	糖尿病の経過や合併症等の正しい知識と定期的な健診受診や治療継続の必要性について普及啓発し、重症化予防に努めます。	保健センター	特定保健指導 訪問指導	特定保健指導：59人 訪問指導：315人	特定保健指導：50人（見込） 訪問指導：310人（見込）
		保険年金課			
オ	特定保健指導対象者に健診結果を説明し、糖尿病を予防するために特定保健指導を実施し、生活習慣改善を支援します。	保険年金課	特定保健指導	特定保健指導：274人	特定保健指導：300人（見込）
		保健センター			
カ	非肥満の糖尿病や糖尿病予備群の方に健康教育や相談、訪問指導を行い、生活習慣改善を支援します。	保健センター	健康相談 訪問指導 血管若返り教室	STOP高血糖教室：22人 健康相談：145人 訪問指導：44人	STOP高血糖教室：20人 健康相談：150人 訪問指導：50人（見込）
		保険年金課	訪問指導		
キ	糖尿病性腎症重症化予防のため、医療機関と連携して保健指導プログラムを実施します。また、未治療者、治療中断者には受診を勧めます。	保険年金課	糖尿病性腎症重症化予防事業	未治療者：15人 治療中断者：14人 保健指導プログラム実施：2人	未治療者：11人 治療中断者：10人 保健指導プログラム実施：3人（見込）
		保健センター			
		保険年金課	高齢者の保健事業（糖尿病性腎症重症化予防事業）	未治療者：5人 治療中断者：10人 保健指導プログラム実施：8人	未治療者：12人 治療中断者：1人 保健指導プログラム実施：16人（見込）
		保健センター			

③循環器疾患

	取組内容	担当課	事業内容	R3事業実績 (回数、人数等)	R4実施状況
ア	循環器疾患の危険因子となる高血圧、脂質異常症を予防する生活習慣や、脳血管疾患が疑われ緊急に医療機関を受診すべき症状等について、普及啓発に努めます。	保健センター	ヘルスポランティア養成講座 食生活改善推進員研修会 健康づくり講演会	ヘルスポランティア養成講座：1回、16人 食生活改善推進員研修会：3回、100人	継続実施
イ	健康診査受診の必要性について普及啓発し、受診を勧めます。	保健センター	広報等による普及啓発	随時 「Let'sトライIMIZUSHI健康8」啓発普及	継続実施
		保険年金課	健診結果説明会	2回、81人	2回、定員各80人

	取組内容	担当課	事業内容	R3事業実績 (回数、人数等)	R4実施状況
ウ	若い世代や男性について、新たな受診者が増えるよう、健診体制の改善や充実に努めます。	保健センター 保険年金課	集団特定健康診査	7回、376人	7回、470人（見込）
エ	循環器疾患の正しい知識と定期的な健診受診や治療継続の必要性について普及啓発し、生活習慣病の発症や重症化予防に努めます。	保健センター 保険年金課	特定保健指導 訪問指導 高齢者の保健事業（循環器疾患訪問指導）	特定保健指導：95人 訪問指導：321人 高齢者（保健指導）：3人	特定保健指導：100人（見込） 訪問指導：300人（見込） 高齢者（保健指導）：5人（見込）
オ	特定保健指導対象者に健診結果を説明し、特定保健指導利用を勧め、生活習慣改善や健康管理について支援します。	保険年金課 保健センター	特定保健指導 特定保健指導	特定保健指導：274人	特定保健指導：300人（見込）
カ	非肥満で循環器疾患の発症リスクが高い対象者に、健康教育や相談、訪問指導を行い、生活習慣改善や健康管理について支援します。	保険年金課	訪問指導	訪問指導：194人	訪問指導：200人（見込）
		保健センター	脂肪バイバイ教室 健康相談 訪問指導	減ら脂ます!脂質改善教室：23人 健康相談：57人 訪問指導：49人	減ら脂ます!脂質改善教室：20人 健康相談：50人 訪問指導：50人（見込）
キ	健診結果から高血圧や脂質異常症の未治療者や治療中断者に受診勧奨を行います。	保健センター 保険年金課	訪問指導 特定保健指導 高齢者の保健事業（循環器疾患受診勧奨案内）	特定保健指導：95人 訪問指導：230人 高齢者（受診勧奨）：33人	特定保健指導：100人（見込） 訪問指導：200人（見込） 高齢者（受診勧奨）：20人

#### ④COPD

	取組内容	担当課	事業内容	R3事業実績 (回数、人数等)	R4実施状況
ア	広報やホームページ等での情報提供、検診の機会を通してCOPDについて正しい知識の普及啓発を図り、予防と早期発見の推進に努めます。	保健センター	健康教育	ヘリカルCT肺がん検診時にチラシ配布	随時 「Let'sトライIMIZUSHI健康8」啓発普及
イ	地域で様々な機会を通して、喫煙が及ぼす健康影響、受動喫煙の防止を呼びかけます。	保健センター	健康教育	CATV 1回	継続実施
ウ	定期的な肺がん検診の受診を勧めます。	保健センター	結核・肺がん検診	集団検診41回：2,088人 医療機関検診：6,191人	実施中
エ	肺がん検診や健康相談で、ブリンクマン指数の高いハイリスク者に対し、医療機関での検査を勧めます。	保健センター	・結核・肺がん検診 ・ヘリカルCT肺がん検診 ・健康相談	ヘリカルCT受診者：185名	ヘリカルCT受診者：211名